

令和 5年度 杉並区施策評価シート I

(00053)

施策 18 子どもの居場所づくりと育成支援の充実										
目標 06 すべての子どもが、自分らしく生きていくことができるまち										
施策担当課 児童青少年課						関係課				
施策目標 子どもたちが安全・安心に過ごせる場所が整備されています。 子どもたちが成長段階に応じた豊かな遊びや多種多様な経験、人とのかかわりを積み重ねることを通じて、自主性や社会性を育むことができます。										
活動指標						成果指標				
指標名（１）		児童青少年センター、児童館、子ども・子育てプラザ及び放課後等居場所事業利用者数				指標名（１）		放課後等居場所事業利用者の満足度		
算式・指標説明						算式・指標説明		放課後等居場所事業の利用者アンケート結果【区民 】		
指標名（２）		次世代育成基金活用事業参加児童・生徒数				指標名（２）				
算式・指標説明		各事業の参加人数の合計				算式・指標説明				
指標名（３）		学童クラブ入会児童数				指標名（３）				
算式・指標説明						算式・指標説明				
指標名（４）						指標名（４）				
算式・指標説明						算式・指標説明				
						指標名（５）				
						算式・指標説明				
						指標名（６）				
						算式・指標説明				
区分			単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度
				実績	計画	実績	計画 （目標値）	実績		
活動指標	活動指標（１）	1	人	758,455	863,000	1,138,020	1,121,000	1,233,881		
	活動指標（２）	2	人	162	439	272	758	673		
	活動指標（３）	3	人	4,851	5,178	4,983	5,432	5,490		
	活動指標（４）	4								
成果指標	成果指標（１）	5	%	0.0	0.0 以上	0.0	85.0 以上	94.2	85.0% 以上	令和12年度
	成果指標（２）	6								
	成果指標（３）	7								
	成果指標（４）	8								
	成果指標（５）	9								
	成果指標（６）	10								
施策コスト	事業費	11	千円	547,405	657,396	595,384	729,397	685,553	特記事項 令和４年度から活動指標に放課後等居場所事業の利用者数を加えることとしました。 また、成果指標は施策体系を見直し、令和４年度から変更しています。	
	人件費	12	千円	1,609,274	1,529,763	1,548,620	1,579,355	1,660,415		
	総事業費 （11+12）	13	千円	2,156,679	2,187,159	2,144,004	2,308,752	2,345,968		
	国・都からの補助金等	14	千円	70,310	47,985	82,864	65,566	93,625		
	総事業費伸び率 （計画、実績の対前年度比）	15	%			0.6	5.6	9.4		
	人件費比率 （12÷13）	16	%	74.6	69.9	72.2	68.4	70.8		

課題・分析	<p>区では、平成26年度以降、区立施設再編整備計画に基づき、児童館が有する各機能をそれぞれの場所で継承し、充実・発展を図る児童館再編による子どもの居場所づくりを進めてきました。</p> <p>その結果、小学生の居場所については、令和4年度は14の小学校で放課後等居場所事業を実施し、利用児童の満足度は目標を上回る94.2%になるなど、一定の成果を挙げています。また、中・高校生の居場所については、令和3年4月に開設したコミュニティふらっと永福において、多目的室等を専用利用できる「ティーンズタイム」を実施するなど、中・高校生の新たな居場所を整備しました。</p> <p>一方、こうした児童館再編の取組には区民に様々なご意見があることから、区では、この間の取組を改めて検証し、今後のより良い子どもの居場所の方向性について検討していくこととしています。</p> <p>次世代育成基金は、基金創設後の11年で延べ5,000人を超える子どもに様々な体験機会を提供するなど成果を挙げており、今後も持続可能な形で基金運用を行っていく必要があります。</p>
施策の成果	<p>小学生の放課後等居場所事業は、令和4年4月から新たに桃三小、井荻小の2校で開始し、小学校全40校中14校で実施しました。安全・安心な居場所や、地域の方とも連携した様々なプログラムを提供することで、利用児童の満足度は目標の85%を上回る94.2%となりました。</p> <p>コミュニティふらっと永福での中・高校生の新たな居場所は、令和4年度は、122組256人の多目的室・楽器練習室の専用利用があったほか、ラウンジの一部の優先席も主に勉強目的の中・高校生の利用が多く見られるなど、中・高校生が日常的に集う居場所として運営しました。</p> <p>学童クラブは、計画に基づき、小学校等への学童クラブ整備を着実に進めるほか、既存学童クラブの育成室の拡張などにより156人の受入枠拡大を図るとともに、福祉サービス第三者評価の受審を開始するなど、運営の質の向上に取り組みしました。</p> <p>区では、こうした児童館再編による子どもの居場所づくりについて、改めて、この間の取組を検証し、今後のより良い子どもの居場所の方向性を検討していくこととしており、当事者である子どもの声も聞きながら、効果的な検討を進めていく予定です。</p> <p>また、次世代育成基金について、令和4年度は、基金活用事業を11件実施し、昨年度を大きく上回る673名の子どもに貴重な体験機会を提供することができました。</p>
改善・見直しの方向 中長期	<p>今後の施策の方向性</p> <p>拡充</p>
	<p>今後の子どもの居場所づくりは、これまでの児童館再編の取組の検証結果を踏まえ、区民の声を聴きながらより良い子どもの居場所のあり方を検討し、今後の方針を決定します。それまでの間においても、児童館や子ども・子育てプラザでは引き続き子どもの健やかな成長や子育て力の向上を支援するとともに、放課後等居場所事業では、事業をより安心して利用できるよう、居場所安全確認アプリケーションの導入や学校休業日の実施時間の拡充などの検討を行い、事業の充実を図ります。</p> <p>学童クラブの整備についても、より良い子どもの居場所のあり方を検討していく中でその方向性を定めることとしていますが、学童クラブ需要の増加が見込まれることから、待機児童解消のための量的整備に加え、「おはようタイム」の実施など保護者が働きながら安心して子育てできる環境の整備・充実を図ります。</p> <p>次世代育成基金については、今後も寄附勧奨の取組を継続しながら、多くの子どもたちに貴重な経験・体験の機会を提供できるよう努めます。また、基金創設から10年以上が経過したことから、その活用方法等についても、より良い成果が得られるように必要に応じて見直しを行います。</p> <p>次期計画においても子どもたちが安心して自由に過ごすことができる居場所の整備を進めるとともに、次世代育成基金を活用した体験や交流ができる機会を通じた育成支援の充実を図っていきます。</p>

令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 18】【施策名称 子どもの居場所づくりと育成支援の充実】 金額の単位は千円 (00053)

整理 番号	事務事業名称	実行計 画事業	主要 事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 230	青少年育成			16,422	37,729	54,151	現状維持
2 231	青少年の自立応援・社会参加事業			12,943	10,157	23,100	推進（拡充）
3 258	児童健全育成事業			301,036	1,401,653	1,702,689	推進（拡充）
4 259	子ども国内交流事業			3,486	9,150	12,636	現状維持
5 264	次世代育成基金の運営			16,344	10,893	27,237	現状維持
6 271	子どもプレーパーク事業			6,104	1,664	7,768	現状維持
7 286	児童青少年センター・児童館等の維持管理			329,218	189,169	518,387	推進（拡充）
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				685,553	1,660,415	2,345,968	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--